

話題 其の19：挙動不審

この通信の話題其の17 を覚えていますか？

陰毛を剃るというトピックスでした。

あの記事以降、私の観察はもっぱらトイレなのです。

やっぱりトイレの犬も小も、便器付近に落ちていないのです。（毛が）

「今日、トイレで挙動不審な自分に気が付いた」というつまらない話題です。

それと、ある方(先輩)が、「最後の落ち（このテーマの）は、久米が毛を剃るのだろう」と言ってきましたが、この場を借りて「勘弁してください」

話題 其の20：お葬式

3月4日～7日の4日間、ここに来て、初めての業務出張として、シリアの首都ダマスカスに行って来ました。ダマスカスまでは公用車で、国境越えの時間も含めて約4時間です。外国出張にしては、手軽な気分でした。

今回、出張の主な目的は、ダマスカス職業訓練センターの視察でした。

現地到着の翌日早朝、校長先生のご尊父が逝去され、私も葬儀に参列しました。

ご尊父のご冥福を祈りつつ、イスラムの葬儀を紹介しましょう。

香典：ダマスカス訓練センターの総務課長さんのもとには、次々に現金が届けられました。

お香典の意味合いがあるのか解りません。

私も同行した仲間と、花輪を贈ることにして、日本円で400円相当を出させていただきました。物価の安いシリアでは相場なのでしょう。

葬儀： 葬儀は、次の3段階で行われました。

1) ご遺体をモスクに運んで、弔問を受ける。

私もモスクまで行ったのですが、外で待ちました。

2) ご遺体を墓地に運んで、土葬を見守る。

多くの方が墓地に集まっていて、土葬風景は遠くで見守りました。

気が付いたことは、どの墓石も同じ方角を向いているのです。当然メッカの方角だろうと友人に聞いたのです。一人は「そうだろう」と即答したのですが、もう一人が丁寧に説明してくれました。『ご遺体は、右肩を下にして埋葬する。その時にご遺体の視線がメッカを向くんだ』なるほど、墓石がではなく、ご遺体がどちらを向くかですね。

因みに、長崎にある久米家先祖のお墓はどれも西向きだった様な気がしますが、他所のお墓には、違う方角に向いているのもあったように思います。

火葬した後のお骨に方角は必要無いのかな？ それとも宗派の違いか？

3) 墓地から帰って友人宅で3時間ほど時間調整をした後、校長宅へ向かいました。

校長宅の前の路地には50却ほどの椅子が両側に並べられ、校長はじめ家族が迎えます。慰めに訪れた各自が、出迎えた家族の全員と言葉少なく、握手を交わします。

自宅前でのこの儀式は3日間続くのだそうです。

女性不在：

このモスク、墓地、自宅前の一連の儀式で、一度も女性を見かけることはありませんでした。『人の死は神が決めたことで、取り乱したりしてはいけない。女性は取り乱しやすいので昔から葬儀に参加させない』とは、友人の説明です。

宗教とは、人間が悲しみや苦しみを軽く受け入れる為に、大切なものなのですね。

\*\*\*\*\*

執筆及び編集：久米 篤憲